

2021年度 日本工学院専門学校											
デザイン科/プロダクトデザイン専攻											
デザイン論2											
対象	1年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	加賀 武見			実務経験	有	職種	デザイナー				
授業概要											
この科目を受講する学生は、プロダクトデザイン理論の基礎後篇を理解して、これから経験していく仕事の現場で、役に立つ知識と考え方を学び向上することを意識できるようになる。プロダクトデザイン理論から「商品開発」に関連する知識を体系的に理解し、デザイン思考を活用できるよう、くらしとしごとのあらゆる場面で必要なデザインの知識を自発的に学び、考えることができるようになるのがねらいである。											
到達目標											
学生が、プロダクトデザインの基礎知識を学び、背景・社会・ビジネス・プロセスの категорияからプロダクトデザインを理解して、自分の適性や興味・関心と結びつけて理解すること、社会で活動するために必要な知識力と理解力を具体的に修得すること、自分の理論の確立することができるようになることを目標としている。											
授業方法											
授業では、教科書の内容に沿って、講師からの解説を受けます。内容によって、個人ワークやグループワークで取組み、授業を進める。授業中での学生間・教員と学生のコミュニケーションから学びを深め、学生の「プロダクトデザインの知識」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「プロダクトデザイン理論」を自分自身の言葉で語り、思考できるようになることを目指す。											
成績評価方法											
試験・レポート	60%	レポート・試験・課題を総合的に評価する									
ワーク	30%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
初心者の段階の学生に理論の観点から、プロダクトデザインに触れてもらう機会になります。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。社会の動き、情報を収集し、業界の今後の推移について考えること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
教科書：プロダクトデザインの基礎 参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。											
回数	授業計画										
第1回	講師の仕事紹介（中級者用） / 講師の仕事からプロダクトデザインを知る										
第2回	ユーザー調査のための手法 / ユーザー調査のための手法を把握する										
第3回	ユーザー調査のための手法 / ユーザー調査のための手法を把握する										
第4回	コンセプト作成のための手法 / コンセプト作成のための手法について理解する										
第5回	コンセプト作成のための手法 / コンセプト作成のための手法について理解する										
第6回	視覚化のための手法 / 視覚化のための手法について理解する										

2021年度 日本工学院専門学校	
デザイン科/プロダクトデザイン専攻	
デザイン論2	
第7回	視覚化のための手法 / 視覚化のための手法について理解する
第8回	デザイン評価と科学的研究 / デザイン評価と科学的研究について理解する
第9回	デザイン評価と科学的研究 / デザイン評価と科学的研究について理解する
第10回	マーケティングとデザイン / マーケティングとデザインについて理解する
第11回	マーケティングとデザイン / マーケティングとデザインについて理解する
第12回	技術とデザイン / 技術とデザインについて理解する
第13回	技術とデザイン / 技術とデザインについて理解する
第14回	デザインノート作成 / プロダクトデザインの基礎で必要とされる知識をまとめる
第15回	デザインノート提出 / 全体のまとめ